

日体施発第180号

平成29年2月27日

都道府県体育施設協会長  
都道府県教育委員会教育長  
特 別 会 員 殿  
関 係 者

公益財団法人 日本体育施設協会  
会 長 大 東 和 美  
(会長印省略)

独立行政法人 日本スポーツ振興センター  
理事長 大 東 和 美  
(理事長印省略)

## 第52回水泳指導管理士養成講習会の開催について

今般、別紙要項により標記の講習会を開催いたします。

つきましては受講参加に格別のご配慮をいただきたく、お願い申し上げます。

## 第5 2回水泳指導管理士養成講習会開催要項

1. 趣 旨 水泳の基本泳法及び救助法・救急法の実技を通して、安全指導と事故防止のための技術を体得するとともに、水泳プール施設の維持・管理・運営に関する必要な知識を習得することによって、指導者・管理者としての資質の向上を図ることを目的としています。
2. 主 催 公益財団法人日本体育施設協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター（予定）
3. 後 援 スポーツ庁（予定）
4. 期 日 平成29年5月 8日（月）～5月11日（木）  
平成29年5月12日（金） 資格認定試験（理論）（7～8ページ参照）  
スポーツ救急手当講習会（希望者のみ）
  - ・プロバイダーコース
  - ・プロバイダー（酸素救急資格付加）コース
5. 会 場 講義 東京辰巳国際水泳場 会議室  
実技 東京辰巳国際水泳場 サブプール・メインプール  
東京都江東区辰巳2-8-10  
(東京メトロ有楽町線「辰巳駅」(出口2)より徒歩10分、東京メトロ有楽町線・JR京葉線・りんかい線「新木場駅」より徒歩12分)
6. 受講資格 次の3つの条件を確実に満たすこと。
  - (1) 年齢 平成29年5月8日現在満20歳以上の方
  - (2) 泳法 競泳4泳法と横泳ぎができること(特に平泳ぎ(脚)ができていること)
  - (3) 泳力 同一泳法で200m以上泳げること  
立ち泳ぎ(足のみ)が3分以上できること
7. 定 員 80名
8. 講習内容 別表(1)のとおり
9. 日 程 別表(2)のとおり
10. 受講料 20,000円(12.申込方法の⑤参照のこと)
11. 申込期間 平成29年4月3日(月)～平成29年4月7日(金) 午前中必着
12. 申込方法
  - (1) 必要な書類及び手続
    - ① 受講・受験申込書を申込期間中に下記(2)に送付してください。(宅配便も可)  
FAXでの申込みや申込期間前は受付いたしません。  
勤務先が本協会会員の所属職員の方は、正規職員であることを証明するもの(健康保険証のコピー)を同封してください。証明するものがない場合は会員と認めません。

- ② 定員を超えた場合は抽選とします。(受講のみは認めません。)
- ③ 1組織(団体)からの申込みは3名までとします。
- ④ 受講の可否についてはそれぞれ受講者に通知します。
- ⑤ 受講が決定した方は、平成29年4月14日(金)まで(必着)に下記へお振込みください。  
振込名が本人名義でない場合は事前にeメールもしくはFAXにて必ずご連絡ください。受講番号は入金順となります。なお、棄権する場合は必ず協会にご連絡ください。

**【振込先】**

銀行名：三井住友銀行

支店名：麴町(コウジマチ)支店

預金種別：普通預金

口座番号：2890859

口座名義：公益財団法人日本体育施設協会

口座名義カナ：コウエキザイダンホウジンニホンタイイクシセツキョウカイ

- ⑥ ⑤の手順によって受理した方には受講受験証と領収書を送付いたします。(納入された受講料は返金いたしません。)

(2) 申込先

公益財団法人日本体育施設協会 事業部

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨2-7-14 巢鴨スポーツセンター別館3階

TEL 03-5972-1983 FAX 03-5972-4106

13. その他

- (1) 資格認定試験を下記のとおり実施します。  
**【実技】**平成29年5月 8日(月)(基本泳法)、11日(木)(救助法)  
**【理論】**平成29年5月12日(金)
- (2) スポーツ救急手当講習会基礎コース既修了者・スポーツ救急手当プロバイダー・インストラクター資格保有者(いずれも有効期限内に限る)は、平成29年5月12日(金)の「スポーツ救急手当講習会基礎コース」の受講が免除となります。お申込みの際、認定証もしくは認定カードのコピーを添付してください。
- (3) 講習中の受講者の補償措置として「傷害保険」に加入し、費用は本協会が負担します。
- (4) 水泳着、ゴーグル、バスタオル(セームタオルも可)、筆記用具(試験は鉛筆、消しゴムを用意)、健康保険証、日用品等は各自持参してください。スイムキャップは講習会初日に配布します。
- (5) 講習期間中は毎朝、受講・受験証を受付に提出してください。
- (6) やむを得ない理由で実技を見学する場合は事前にご連絡ください。私服でのプールサイドへの入場は衛生上禁止されておりますので、見学の際も水着の着用をお願いします。
- (7) 個人情報、厳重に管理し、その利用は本協会の事業目的以外には使用いたしません。

- (8) 宿泊施設は各自で対応してください。
- (9) この講習会に関する問い合わせ等は、本協会事業部（TEL 03-5972-1983）へお願いします。
- (10) 公認指導者制度により、資格の有効期限は4年間です（平成29年4月制定施行予定）。

#### 14. 参考

- (1) 「プールの安全標準指針」（平成19年3月、文部科学省・国土交通省通知）において、プールには監視員の適切な配置を行うこと。また、プールの設置管理者及びプール管理業務の受託者に対し、監視員等の教育訓練について適切に対応するよう、等々を求めています。（一部抜粋）
- (2) 公益財団法人日本水泳連盟プール公認規則第16条（プール管理者）では、公認プールには資格を有する者をプール管理者として置かなければならないとし、公益財団法人日本体育施設協会水泳指導管理士もその一つとして規定されています。

水泳指導管理士講習内容

別表(1)

科 目	時間 (分)	講 師
【実技】 基本泳法	300	国土舘大学 非常勤講師 篠原昇一
救助法	360	〃
	小計	11時間
【理論】 基本泳法、監視法・救助法	90	国土舘大学 非常勤講師 篠原昇一
プール施設の安全管理	75	(公財)日本体育施設協会 水泳プール部会 小川成之
プール施設・設備の維持管理	75	(公財)日本体育施設協会 水泳プール部会 白木俊郎
水泳事故と法的責任	90	キーストーン法律事務所 代表弁護士 菅原哲朗
プール施設のマネジメント	60	(公財)日本体育施設協会 水泳プール部会 樋口貴之
利用者サービスの向上と顧客満足度	75	(公財)日本体育施設協会 水泳プール部会 三津間拓也
スポーツ施設の事故防止と救急対応	90	国土舘大学 体育学部 スポーツ医科学科 教授 田中秀治
スポーツ救急手当講習会 基礎コース	60	
	小計	10時間15分
	合計	21時間15分
【希望者】 スポーツ救急手当講習会 ・プロバイダーコース ・プロバイダー(酸素救急資格付加)コース	240	別紙「スポーツ救急手当講習会の開催について」を参照

第52回水泳指導管理士養成講習会 日程表 (平成29年度)

別表 (2)

日	時												会場		
	8:40	9:00	9:30	10:00	10:15	10:40	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00		17:00	18:00
5月8日 (月) 1日目			受付	開校式	休憩	基本泳法 監視法と救助法 10:30～12:00 〈篠原〉	昼休み 12:00～13:00								東京辰巳 国際水泳場 講義：会議室 実技：サンプール
5月9日 (火) 2日目		受付	プール施設の メンテナンス 9:00～10:00 〈樋口〉	休憩	水泳事故の法的責任 10:10～11:40 〈菅原〉	昼休み 11:40～13:00									東京辰巳 国際水泳場 講義：会議室 実技：サンプール
5月10日 (水) 3日目		受付	プール施設の 安全管理 9:00～10:15 〈小川〉	休憩	プール施設の事故防止と 救急対応 10:25～11:55 〈田中〉	昼休み 11:55～13:00									東京辰巳 国際水泳場 講義：会議室 実技：サンプール
5月11日 (木) 4日目		受付	利用者サービスの 向上と顧客満足度 9:00～10:15 〈三津間〉	休憩	プール施設・ 設備の維持管理 10:25～11:40 〈白木〉	昼休み 11:40～13:00									東京辰巳 国際水泳場 講義：会議室 実技：サンプール
5月12日 (金) 5日目		事務 受付連絡	資格認定試験 (理論) 9:00～10:30	休憩	プール救急手 講習会 基礎コース 10:40～11:40	昼休み 11:40～12:30									東京辰巳 国際水泳場 会議室

スポーツ救急手当講習会 基礎コース

別表（３）

プログラム

時間(分)	項 目	内 容	
10	オリエンテーション	救急手当法の必要性について	
		グループ分け	
20	デモンストレーション	傷病者発見	救急バッグ準備
			周囲の安全確認
			大出血の確認
			感染予防
		意識確認	呼びかけて反応（意識）確認
		応援要請	119番通報・AED依頼
		呼吸確認	胸、お腹の動きを確認 （10秒以内）
		CPR＋人工呼吸	胸骨圧迫＋人工呼吸の実施
		AED	AED到着後直ちに実施
		CPR&AED	AEDガイダンスに従い実施
救急隊到着	救急隊へ状況報告		
30	実技実習	CPR	2サイクル（30回×2回）
		AED	AED到着後直ちに実施
			電源を入れる
			胸部確認
			パッド貼付
			ショック（除細動）
		（胸部圧迫はAEDガイダンスに従ってAED実施中も続ける）	
CPRの再開	ショック後直ちに胸骨圧迫再開		
60			

公益財団法人日本体育施設協会 殿

※裏面もご記入ください。

第52回水泳指導管理士養成講習会 受講・受験申込書		
現住所	〒 携帯 - - TEL - -	受付番号 (協会記載欄)
ふりがな		写真貼付 (上半身)  4 cm × 3 cm 裏面に氏名記入
氏名	男 昭和 年 月 日生 女 (満 歳)	
※所属先 (勤務先) 又は 学校 (学生の場合)	名称(校名)  部課名(学部名・学年)  所在地 〒 TEL (内線)	
eメール		
(公財)日本体育施設協会又は都道府県体育施設協会	・会員 ・非会員 (いずれか○で囲む)	
●資格認定試験合格者の氏名・都道府県名を本協会HPに掲載・発表する予定です。	・掲載して構わない ・掲載を希望しない (いずれか○で囲む)	
●資格認定試験合格者の氏名・都道府県名を月刊体育施設に掲載・発表する予定です。	・掲載して構わない ・掲載を希望しない (いずれか○で囲む)	

◎氏名・生年月日は資格認定証・資格認定カードに明記しますので、**住民票**に記載されているとおりに楷書で記入してください。

◎貼付写真は、資格認定カードに転写しますので、規定サイズで鮮明に撮影したものを貼付してください。

◎勤務先、所在地の電話番号は、本人の職場の電話番号(内線)を記入してください。

◎この用紙で不足する場合はコピーしてください。用紙サイズはA4です。

◎保有資格認定証のコピー、または科目合格証のコピーを必ず添付してください。

◎講習会に係る事務連絡等で、本協会より申込書の連絡先もしくは所属先へ連絡する場合があります。

※所属先は健康保険証に明記されている法人名を記入してください。

⇒**裏面**資格記載欄にも、忘れずにご記入ください。

